

地域を愛し、自立と共生ができ、未来を創る子ども

直東学園ニュース

直江津東中学校区すこやかネットワークだより

令和7年度 第9号
令和8年2月25日発行
＜発行・編集＞
直東学園 事務局
〒942-0041
新潟県上越市安江 282-1
(上越市立直江津東中学校内)
TEL : 025-543-2729
FAX : 025-543-4150
E-mail : higashi-cs@jorne.or.jp

生徒指導特集

直東学園では、小中学生のよりよい人間関係づくりや、規律ある学校づくりを実現するために、今年度も引き続き以下の3点について、5校で共通理解を図り、連携しながら具体的な取組を進めています。

(1) リーダーシップ・フォロワーシップの育成

各学校とも学校行事や、児童会（生徒会）活動、清掃活動などを中心に、同学年だけでなく異学年でかかわり合う場面、一人一人が集団の一員としての役割を果たす場面を意図的に設定し、リーダーシップやフォロワーシップの育成に努めました。運動会、あいさつ運動、縦割り班活動、遠足、ボランティア活動などの様々な活動において、主体的にリーダーシップを取る姿、自分の役割をしっかりと行う姿、友達と協力する姿、低学年に優しく寄り添う姿などがたくさん見られました。

(2) 小中5校の一層の連携と切れ目のない生徒指導

各学校の生徒指導担当教員が構成員である生徒指導推進委員会により、子どもの現状や課題を情報共有するとともに、各学校の教育活動等の改善に生かしました。また、児童生徒を取り巻く環境や実態を話し合い、「直江津東中学校区 生活のきまり」の内容を確認しました。

(3) 「いじめ見逃しゼロスクール集会」の充実

11月20日（木）に、小学6年生と中学1年生の児童生徒による「いじめ見逃しゼロスクール集会」を開催しました。当日はインフルエンザの集団感染が心配されたため、リモートで行いました。

いじめ問題に対する課題を明らかにし、その解決のための「自校のアクションプラン」を各学校が発表し合いました。また、上越市学校教育課藤田賢一郎指導主事より、SNSのよさや問題点、具体的なトラブル等に関してのご講演を



していただきました。初めてのリモート開催でしたが、中学1年生の堂々とした司会進行、分かりやすい各学校の説明、自分事として理解が深まる講演により、真剣に学ぶ姿がたくさん見られました。来年度、中学校において、いじめや差別をせず、良好な人間関係づくりを行うものと期待しています。

北諏訪小学校の取組

北諏訪小学校が大切にしている仲間との関わりを今年度も意識しました。

①全校で取り組むあいさつ運動

1年に5回、担当学年がリーダーになってあいさつ運動をします。各教室に出向いてあいさつをする、校舎のいたるところで待ち構えてあいさつをする、毎日意識するポイントが変わる等、子どもたちが学級で話し合い、趣向を凝らしたあいさつ運動が繰り広げられています。



②異学年集団での交流

6年生が遊びのリーダーとなり、異学年交流を行っています。遊びを通して、互いに思いやり、認め合う姿がたくさん見られます。遊んだ後は、メッセージを交換します。



③みんなが認め合える集団に…



自分の好きなものについて作文を書く機会がありました。互いに認め合える一つになればと、作文に記された全校児童の大好きなことを一覧にまとめた掲示を作成しました。

保倉小学校の取組

保倉小学校は、『相手の気持ちを考えかわり合う子ども』を目指し、主体的・自発的活動を重視しています。縦割り班活動や児童会活動でかかわり合い、活動後は「ハートフルカード」で温かいメッセージ交換をしています。今年度は学年から全校に発信する活動が増え、リーダーシップ・フォロワーシップを育てています。今回は、5年生を紹介します。

全校児童の自己肯定感を高めるために挑戦！

『持久走プロジェクト』を立案し、「全校のみんなが楽しく持久走練習ができるように」という願いをもって5年生が提案をしました。

取組① 呼びかけによる目的意識の変化

全校アンケートから、持久走は「人と結果を比べられるので嫌だ」「人に追い越されるのが嫌だ」という声を聴き課題と捉えました。『持久走は自分との闘い』『自分の記録更新を目指そう』という全校共通の目標を掲げ、ポスターや放送で呼びかけました。

取組② 励ましメッセージ

「長い距離を走るのが辛い」という声に応えるため、大会当日にコース上に応援メッセージの看板を立て、頑張る人を励ます工夫をしました。



取組③オリジナル賞でみんな笑顔

自分の目標が達成できない」「頑張ってもメダルはもらえない」とあきらめ前向きになれない人に、『頑張った人みんなにメダルを贈ろう』と考え、10人で全校77人分の金メダルを作りました。もらった人はみんな笑顔！

活動後の変化 ～全校の笑顔と心の交流へ～

記録会后、5年生に対しお礼のメッセージがありました。「走るのが苦手だったけど、楽しく走ることができた」「看板のおかげで、最後まで走ることができた」という喜びの声。頑張ったすべての児童の自信になり、自己肯定感の高まりに繋がったといえます。5年生にとっては、この活動をやり遂げたことで、大きな達成感を感じ、自己有用感が高まりました。



有田小学校の取組

有田小学校では、教育目標を受け、
「自分もみんなも大切にする」

を合言葉に様々な取組を行ってきました。そのうち2つを紹介します。

1 新しい形の「ありペン・たーペン集会」

自分もみんなも大切にする姿を目指し、「明るいあいさつを伝え合おう、温かい言葉を伝え合おう、よいところを伝え合おう、ありがとうを伝え合おう」の4つを「月別なかよし目標」とし、繰り返し取り組んできました。

全校で集まる「ありペン・たーペン集会」では、月ごとにテーマを決め、挨拶や良いところ、ありがとうを伝えることの素晴らしさなどについてプレゼン後、実際に声に出してみるなど、活動を積み重ねてきました。少しずつ自分から伝えることの良さを感じてきた子どもたち。

12月の集会では、さらに、楽しいゲームを取り入れながら、『自然と』言葉を伝え



たくなる活動へと変化してきました。子どもたちの内から湧き上がる気持ちを大切に、今後も活動の在り方を更新していきます。

2 心がつながる「なかよし班活動」

異年齢グループ「なかよし班」の遊びでは、高学年の子どもたちが、全体の動きを捉えながら、一年生に声を掛けたり、状況に合わせてルールを変えたりして、みんなが遊びを楽しむことができるよう工夫する姿が見られるようになりました。

回数を重ねるごとに、子ども達の表情や仕草にも変化が見られ、休み時間にも声を掛け合い、異年齢で一緒に遊ぶ姿がとても素敵でした。



春日新田小学校の取組

春日新田小学校では、共感性と社会性、人間関係形成力の育成を目指し、縦割り班活動(以下、なかよし班)やSSE(かかわり方の学習)に取り組んでいます。

1 絆を深めるなかよし班活動

なかよし班活動の常時活動として、なかよし班で清掃を行っています。清掃時には、6年生のリーダーを中心にそれぞれが自分にできることを時間一杯がんばっています。

また、春のなかよし班顔合わせからスタートとし、なかよしウォークラリー、なかよし班体力テスト、なかよし班遊び等を行うことで、各班で絆を深めてきました。秋には音楽発表会のステージ発表を全校で見合い、なかよし班の友達にメッセージを送りました。互いのがんばりを認め合ったり、友達の素敵などところを伝え合ったりできる温かな人間関係や、リーダーシップ、フォロワーシップが育まれていると感じています。



なかよし班体力テスト



なかよし班でのメッセージ交換



なかよしウォークラリー

2 全校でかかわり方を学習(全校 SSE)

2学期と3学期に全校SSEを行っています。2学期は、相手の名前に『さん』を付けて呼ぶこと、また、『～です。』、『～ます。』など、ていねいな言葉づかいをすることについて学習しました。

3学期は、相手に聞こえる声であいさつをしたり、あいさつを返したりすると、どんな良いことがあるのかについて学習しました。

学んだスキルが日々の生活に生かされている時には賞賛し、良い行動を促しています。

直江津東中学校の取組

直江津東中学校では、年間を通じて、生徒主体となり、仲間を大切に人間関係を築く「温かい学校づくり」に取り組んでいます。

【遠足】

遠足では、普段の班活動、給食、清掃、仲間とのコミュニケーション等で培った、「協力」の意義を再



確認し、更に成長させることをねらいにしています。どの学年、学級もレクリエーション等を通して、連帯感や所属感など学級、学年の仲間づくりの基盤を今まで以上に高めることができました。

【学校行事】



生徒が主体となって学校行事を運営することで、自ら考え、仲間同士で話し合い、実行力を養うことを目指し

ています。なかでも毎年9月に行われる体育祭と10月に行われる音楽祭は、生徒が大いに盛り上がる学校行事です。準備期間や振り返り活動の時間に、仲間の良さを見つけ、感謝の気持ちを伝え合いました。

【いじめ見逃しゼロ強調月間】

他者を思いやる心、規範意識、主体的に行動する力、そして自己肯定感など、いじめを未然に防ぎ、適切に対応できる多角的な「人間力」を養います。11月～12月の取組では、各専門委員会です

ぞれの目的に沿った独自の企画を考案し、実行に移しました。また、1年生は学区の小学生と一緒に



に「いじめ見逃しゼロスクール集会」を行い、いじめについて深く考えました。

ボランティア支援

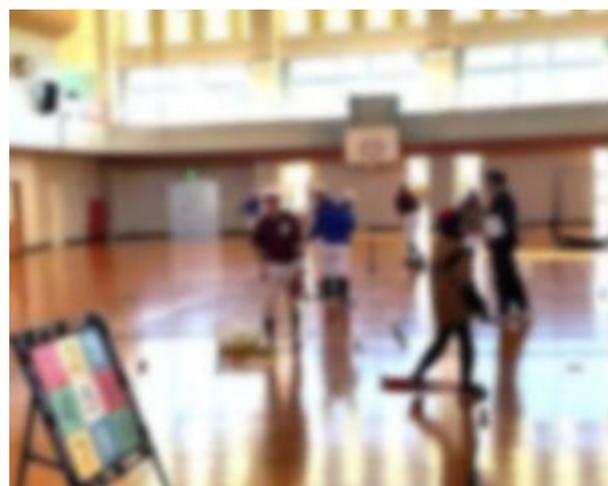
令和7年度も直東学園および直江津東地域 青少年育成会議では様々なボランティア活動に取り組みました。数多くの地域の方々、保護者の方々、そして事務局メンバーで少しでも子ども達の応援ができればと活動しました。

今年も中学生によるボランティア活動もありました。

有田地区の体育大会にこれまでも、たくさんの中学生がボランティアとして活躍してくれています。



上越市公民館主催のキッズフェスタにも東中学校の野球部員の皆さんが今年もボランティアとして盛り上げてくれました。



ボランティア活動は、自分の都合に合わせて、できるときに、できる範囲で、無理せず行うことが長続きのポイントです。

事務局員と一緒に活動してくれる方を募集しています。毎回でなくて結構です。できる範囲でお願いします。